

情報公開用文書（医学部で実施する医学系研究）

（単施設の研究用）

西暦 2020 年 04 月 27 日作成 第 2.0 版

<p>研究課題名</p>	<p>ヒト腫瘍における AMPA 受容体発現の調査</p>
<p>研究の対象</p>	<p>本学バイオバンク保管のヒト腫瘍組織 肺癌（小細胞癌、腺癌）、脳腫瘍、前立腺癌、子宮癌、乳癌、内分泌癌、胃癌</p>
<p>研究目的 ・方法</p>	<p>悪性新生物の診断治療はこの 20 年ほどで飛躍的に進歩しましたが、その一方で未だに治療が困難であるものもあります。</p> <p>肺小細胞癌、膵臓癌、グリオーマなどはその代表例ですが、近年治癒率が高くなっている癌についても、発見が遅れたことにより外科的な摘出が困難な場合はその治療に限界があります。癌は多くの遺伝子の変異の積み重ねにより発生することが知られています。その一つ一つがこれまでの研究により明らかになってきており、その変異タンパク質や増殖、転移に関わる分子をターゲットとした有効な治療薬も開発されています。癌の薬物治療はこうした多くの癌関連タンパク質をターゲットとした新規治療薬を累々と積み重ねていくことにより、少しずつ進歩していくと考えられています。</p> <p>興奮性シナプスにおける機能分子としてこれまで研究が進んできた AMPA 受容体ですが、最近肺小細胞癌にも発現していることが明らかになり、新たな癌治療ターゲットとして注目されています。本研究は AMPA 受容体の発現をその他の癌も含めて広範に検証していくことを目的としており、新たな抗がん剤のターゲットとなりうる可能性があり、大きな意義があると考えています。</p> <p>本研究は様々な癌における AMPA 受容体の発現を検証することが目的です。</p> <p>実際には、ウエスタンブロット法を用いて提供されたヒト腫瘍組織内の AMPA 受容体量を測定します。</p>
<p>研究期間</p>	<p>西暦 2017 年 11 月 8 日～ 西暦 2022 年 3 月 31 日</p>
<p>研究に用いる 試料・情報 の種類</p>	<p>本学バイオバンクに保管されているヒト腫瘍組織 肺癌（小細胞癌、腺癌）、脳腫瘍、前立腺癌、子宮癌、乳癌、内分泌癌、胃癌</p>

情報公開用文書（医学部で実施する医学系研究）

（単施設の研究用）

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学 医学部医学研究科 生理学 （研究責任者）高橋 琢哉

電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-787-2578